

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET NOD32 アンチウイルス for Linux Desktop V4.0
(以降、本製品と記載します) を正しくご利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・ 本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・ 本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・ 本製品をインストールする場合は、root 権限 (スーパーユーザー) でインストールしてください。
- ・ 本製品をインストールする際は、インストーラに実行権限が付与されていることを確認してください。実行権限が付与されていない場合は、以下のコマンドを実行してください。

```
sudo chmod +x <インストーラのパス>
```

- ・ 本製品をインストールするコンピューターに、次のプログラムがインストールされていることを確認してください。

- kernel 2.6.X またはそれ以上のバージョン
- glibc 2.3.6 またはそれ以上のバージョン
- GTK+ 2.6 またはそれ以上のバージョン
- LSB 3.1 互換が推奨

- ・ 本製品はインストール後、オペレーティングシステムの再起動が必要になります。
- ・ 本製品は AppArmor に対応していません。AppArmor は無効にするかアンインストールする必要があります。
- ・ 本製品は SELinux に対応していません。

■ 製品マニュアルについて

本製品のマニュアルは「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることができます。

ユーザーズサイト：

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

■ 使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□ ライセンス有効期限表示について

本製品ではライセンス有効期限が GMT (グリニッジ標準時) で表示されています。そのため、有効期限の時刻が「21 時 00 分」と表示されていても、有効期限内中は本製品をご利用頂けます。

□ AppArmor について

デフォルトで有効になっている AppArmor は、無効にするかアンインストールしてください。

AppArmor が有効のままだと ESET が正しく動作しないことがあります。

□ ESET NOD32 Antivirus の GUI について

ESET NOD32 Antivirus の GUI(esets_gui)を閉じると、Unity Dash 等から起動しようとしても、再度表示できなくなる可能性があります。

また、OS のバージョンによって、上部のパネルに ESET のアイコンが表示されないことがあります。ESET のアイコンを常駐させるには、libappindicator1 をインストールする必要があります。

```
sudo apt-get install libappindicator1
```

esets_gui を再び表示する場合は、再起動を行うか、以下の手順を実施してください。

上部パネルに ESET のアイコンがある場合は、アイコンから起動してください。
上部パネルに ESET のアイコンがない場合は、コマンドラインから「esets_gui」のプロセスを一度終了させて再度起動する必要があります。

1. 端末(ターミナル)を起動して以下のコマンドを入力
「ps -ef | grep "esets_gui"」または、
「pidof /opt/eset/esets/bin/esets_gui」
2. esets_gui の PID を指定して以下のコマンドを入力
「kill {esets_gui の PID}」
「sudo kill {esets_gui の PID}」 ※root 権限で実行している場合
3. Unity Dash 等から ESET を起動

※libappindicator1 をインストールしている場合は、root 権限で「esets_gui」を実行した時に操作画面が表示されないことがあります。

表示されない場合は、一度 libappindicator1 をアンインストールし、起動している「esets_gui」を全て終了させて、下記コマンドにより「esets_gui」を起動してください。

```
sudo /opt/eset/esets/bin/esets_gui
```

□ ESET NOD32 Antivirus の GUI を利用せずに権限を追加する方法

本製品はコマンドラインから権限を追加することが可能です。下記のコマンドを実行してください。

実行例：

```
sudo /opt/eset/esets/sbin/esets_set --set 'privileged_user = "username:root"'
```

```
sudo /opt/eset/esets/sbin/esets_set --set 'privileged_user = "username1:username2:root"'
```

username, username1, username2 の部分はお使いの環境に合わせて変更してください。
複数追加する場合は、":"で区切ることで追加する可能です。

■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>

プログラムの変更点について：

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business

□ コンテキストメニューについて

設定から「コンテキストメニューに統合する」にチェックを入れても、「コンテキストメニュー」はご利用いただけません。

ファイル単体の検査を行う場合は、「コンテキストメニュー」から「別のアプリケーションで開く」-「ESET NOD32 Antivirus」を選択することで検査可能です。

□ ESET Remote Administrator V5.X を用いたプッシュインストールの制限事項について

Ubuntu 16.04 では新しいバージョンの OpenSSH Server が含まれており、ESET Remote Administrator V5.X では未対応であるため、プッシュインストールはご利用いただけません。

クライアント側でのインストール、または以下 URL 先のリモートインストールパッケージを利用したインストールをご利用ください。

http://eset-support.canon-its.jp/faq/show/105?site_domain=business

http://eset-support.canon-its.jp/faq/show/3776?site_domain=business

※「<方法2>クライアント管理用プログラムを利用しない場合」をご参照ください。

□ リムーバブルメディアの遮断機能について

Ubuntu14.04、及び 16.04 では、設定から「リムーバブルメディアの遮断を有効にする」にチェックした状態でリムーバブルメディアを接続した場合、特権 (root) ユーザーの認証画面が表示されます。認証を行わない限り、リムーバブルメディアにアクセスすることはできません。

ただし、Ubuntu 18.04 では、リムーバブルメディアを接続しても特権 (root) ユーザーの認証画面は表示されず、リムーバブルメディアへのアクセスを遮断することができません。

■ 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/business/>

ユーザーズサイト：

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>